

XAFSデータベース利用者の皆様

9月30日

平素大変にお世話になっております。さて、北海道大学触媒科学研究所と日本XAFS研究会はXAFSの基本データベースを作るため、2010年よりXAFS DASE事業を展開して参りました。
(https://www.cat.hokudai.ac.jp/catdb/index.php?action=xafs_login_form&opnid=2)。

皆様のご協力のおかげで、現在253件収集し、海外を含めて、数件程度の利用を毎年頂いております。さらにXAFS database事業を発展させるため、XAFS研究会と北大触媒科学研究所は2018年から、各施設とともに、XAFSdataの直接収集を展開しております。一方、NIMS様が制作したMDR(Materials Data repository)とも連携し、本格的なXAFSデータベースの構築と利用を進めております。

<https://mdr.nims.go.jp/collections/qz20st57x>

このたび、NIMS様から日本XAFS研究会と北海道大学触媒科学研究所のXAFSデータベースをMDRへ登録しないかという誘いを頂きました。

NIMS様のMDRは、まず公知のデータであることが必要条件になっておりますので、本データベースで公知になっている皆様のデータはMDRへの掲載条件をみたしております。

MDRに、登録されることによるメリットは、様々な施設から提供されているデータとともに、利用可能なXAFSデータが一元管理され、必要なデータを検索しやすくなるということであります。さらに、MDRに登録されることにより、DOI(Data Object Identifier)が付与されますから、引用しやすくなり、(現在はICAT独自の番号がついておりますが)ますます活用が広がることが期待されます。

つきましては本事業にご理解をいただき、MDRの登録をご了解ください。

もし不都合がある場合には10月8日までにご連絡(askr@cat.hokudai.ac.jp)を頂けると幸いです。その際に不都合なデータID(サンプル名の下にあるJXAFS-番号(10桁の数)を付記し、お名前(Correspondence Author)をお知らせください。尚、とくに問題がない場合には、ご返信の必要はありません。また、質問等もお受けいたします。ご遠慮無く、私(askr@cat.hokudai.ac.jp)までいただければ、と思います。

今後も定期的にMDRに登録を進めますので、ひきつづき、日本XAFS研究会と触媒科学研究所のデータベースへのデータのデポジトリをお願いしたいと思います。

MDRを中心としたXAFS Databaseは、世界に例のない大規模なものとなり、XAFS科学ひいては、我が国の科学技術がさらに発展することを願っております。

朝倉清高

askr@cat.hokudai.ac.jp